

阪神淡路大震災から 30 年・団体設立 30 年

理事長 村山 メイ子

今年度は、活動拠点の移転問題に揺れ、放課後デイサービスひまわり畑の閉鎖決定など、組織の岐路に立たされるほどの大きな問題が重なる中で、2025年2月2日に設立30周年の節目を迎えました。

当法人は1995年、阪神淡路大震災発生から2週間後に設立し、安否確認、水くみ、病院の送迎などの生活支援が始まりました。一方では被災高齢者とお茶を飲みながら被災時の体験や将来の不安を語り合い、励まし合ってきました。

あれから30年、いつも温かく支えて頂いた皆様に心より感謝申し上げます。どの事業も30年前の震災ボランティア活動が原点になっており、地域住民の生活と切り離せない事業ばかりです。今後も初心を忘れずに皆様と共に地域でゆるやかにつながり、たすけあうコミュニティづくりをめざしていきます。どうぞ、今後ともよろしくお祈りします。



2月2日 ツナ缶でランプづくり

第1号議案 2024年度（第24期）事業報告(案)

重点目標1,【立退きによる移転問題について】

旨水館は、2025年12月末までは営業可能だろうとの事で、その先は現時点ではわかりません。当法人は旨水館が続く限り、旨水館で活動を続ける予定です。

もし年度途中で旨水館を出ることになった場合に備え、事務所から南へ徒歩2~3分の場所に約40㎡の小さな場所を確保しています。現在は空家賃を納めているだけで使用していません。移転になった場合は、事業を絞り込みをします。優先するのは、高齢者の介護予防につながる事業と子どもの健全育成につながる事業の



旨水館で買い物体験する子どもたち



約40㎡のプレハブ住宅

予定です。また場所は離れますが、深江北第3住宅集会所も活用していきます。

しかしそれだけでは足りないため、日々の事業と同時進行で拠点を探し続けてきました。たまたま御影で、ほぼ条件に当てはまる物件を紹介していただき安堵していましたが、所有者の事情により可能性が低くなりました。また振り出しに戻り、拠点探しはまだ続きそうです。

重点目標2, 通所支援事業【ひまわり畑の立て直し】

放課後等デイサービスひまわり畑
施設長 越智 美恵

2024年度の重点目標として、児童発達支援管理責任者を新たに採用し、ひまわり畑と本部が協力して事業の立て直しをはかる予定でした。

しかし、ハローワークに登録しても応募はなく、人材紹介にも登録しましたが採用に至りませんでした。

放課後デイサービスは児童発達管理責任者1名が開設条件となっています。しかし、現在の児童発達管理責任者は2025年3月末で退職の意思が固く、4月以降児童発達管理責任者が不在となり、事業継続は難しいと判断しました。10年以上にわたり、ひまわり畑の活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。



【おやつ作り】キャンディチーズを入れて焼くマッシュポテト

重点目標3, 【市営住宅深江北第三住宅交流室の活用】

神戸市の市営住宅コミュニティ活性化モデル事業に応募し採択されました。市営住宅入居者の少子高齢化等の課題に対応するため、コミュニティの活性化を図ることが目的です。

◎事業報告

- ◎7月：オープニングで市営住宅住民を対象に交流会開催
- ◎9月～1月：「ミニバザー@深江」毎月1回
リサイクルバザーとお茶会・食料支援と相談会。
- ◎2月：生活支援研修会、地域住民にふるまいカレー提供
- ◎3月：ボランティア交流会を開催。

◎今後の予定

- 毎土曜日：親子の日本語+居場所（多文化共生センターひょうごに貸出）
- 月1回：ソーシャルカフェ（灘区のアスパークと連携で検討中）
- 月1回：ミニバザー@深江及びお茶会・食料支援と相談会（当法人主催で実施）



市営住宅深江北町第3住宅集会所



阪神深江から線路沿いに歩いて約4分 青の点線に沿って歩くとわかりやすいです。

重点目標4, 設立 30 周年記念行事の実施

「震災を忘れない。」

備えの習慣化と子どものサバイバル体験」

2月2日（日）大震災から身を守るため、平時からの「備え」を習慣化させることを目的に実施しました。当日は子どもから大学生、高齢者まで、多世代がつどい、目標の300人を上回る350人が参加されました。

大人向けプログラム…マイ避難カードづくり

親子向けプログラム…ポリ袋クッキング・他

誰でもプログラム…防災カレー・防災食の試食



ポリ袋クッキングの試食

防災スタンプラリー、防災クイズ

◎本事業は「ひょうご安全の日」推進事業助成により実施しました。



親子でポリ袋クッキング




防災食(炊き込みご飯・カレー等の試食)

「30年記念誌の発行」

次の活動拠点が決まらない限り、今後の活動方針を打ち出すこともできず、発行できませんでした。拠点が決まり次第作成します。

【以下は通常の活動報告です】

だれでも 

「くらし支援」


日常生活の困りごと相談窓口

生活支援事業

- 利用件数：2931件
- 利用が多い支援：
 - ①掃除洗濯 939件
 - ②ゴミ出し 757件
 - ③庭仕事 237件
 - ④子育て支援 173件
 - ⑤外出通院介助 155件
 - ⑥その他 483件

利用件数は前年比95件減少しましたが、ゴミ出しは前年比219件増加し、ゴミ出しが大きな地域課題であることが浮き彫りになりました。

また、研修のなかで支援者から報告を受け、気がかりな認知症利用者の状況を確認した結果、辛くも高額請求の詐欺を解約成功した事例がありました。支援者のみなさまのおかげで、支援以外でも住民同士が互いに見守り、支え合って、住みよい地域を守る活動ができています。みなさま、ありがとうございます。

だれでも 

「すまい支援」

居住の困りごと相談窓口 **要予約**

居住支援事業

- 相談 73件
- 相談成立 18件
- 入居中支援 13件

相談経路

相談 73件のうち、行政の紹介 49件、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、自立相談支援機構 14件、NPO や食料支援からの相談が 10件でした。

地方公共団体等との連携

国土交通省の補助事業。今年度より補助金の予算は変わらないのに要件が厳しくなり、行政機関との連携が追加されました。

そのため、不動産系の居住支援法人も加わり、「ひょうごん福祉ネット居住支援連絡会」（全14団体）を設立し、兵庫県まちづくり部住宅政策課と連携して研修会を主催しました。

お困りの方



「食料支援」

お困りの方への食料支援 **要予約**

食料品・生活情報提供

- 毎月中旬 5 日間 + とび込みにも対応 全 85 回
- 利用者数 527 人
- 相談対応 361 人
- 行政等につなぐ 102 人

神戸市の補助事業。神戸市在住で経済的困窮者を対象に、食料支援と相談業務を実施。毎月約 5 日間（内 1 日は深江拠点）定員 40 名としましたが、毎月定員を超える申込がありました。昨今の物価高を受け、申込者数は増加傾向です。食料お渡し時に毎回、全員に対してヒアリングを行い、適切な生活情報を提供。必要に応じ行政の窓口、ハローワーク、社会福祉協議会等につながりました。居住支援や学習支援等助け合いネット内で対応した事例も多くありました。

むすびえひとり親・多子家庭向け食料支援

- 2024 年 9 月～12 月 全 13 回
- 利用者数 400 人

小中学生



「子育て支援」

学習支援や子どもカルチャー

健全育成事業

小学生の学習支援

- 月曜 16 時～18 時
- 学習習慣の定着のため、宿題や自主学習の支援を目的としています。

口コミで利用者が増えましたが、新年度は新しいお子さんも入れるように、これまでの利用者はいったん終了し、改めて新規募集を行います。お申込みをお待ちしています。

中学生の学習支援

- 月曜(数学)・木曜(英語)17 時半～19 時
- 少人数制の個別学習

主に御影中学、住吉中学の 1 年生～3 年生の生徒を中心に学力の底上げと高校受験合格をめざし自主事業で学習支援を実施。

中学生は 17 時半の授業開始が厳しいため、新年度は時間の見直しを図り、講師も 1 人体制から 2 人体制に充実させます。

65歳以上



「介護予防」

地域拠点型一般介護予防

介護予防サロン

- 火・木・土 13 時～16 時
 - 65 歳以上の方
 - 利用料 1 回 300 円
- お茶とおやつ付き

火曜サロン【作るよ】	利用者延べ 396 人
手仕事・おしゃべり・歌・ゲーム・脳トレなど	
木曜サロン【歌うよ】	利用者延べ 431 人
歌・歌体操・ゲーム・おしゃべり・脳トレなど	
土曜サロン【動くよ】	利用者延べ 526 人
3B 体操・輪投げ・ゲーム・脳トレ・歌など	



土曜サロン お楽しみの 3 時のお茶タイム

障がい児童



「放課後デイサービス」

障がいのある子どもたちの居場所

放課後デイひまわり畑

施設長 越智 美恵

ひまわり畑は 2025 年 3 月 31 日をもって閉所しました。

閉所を決めてからも、皆さんが慣れ親しんだひまわり畑を最後まで利用してくれました。高校 3 年生の卒業パーティーは保護者も参加してにぎやかにいき、最終日はお弁当持参で石屋川公園で少し早めのお花見をしました。保護者から閉所を惜しむ声をたくさん寄せていただいたことは、ひまわり畑としてやってきたことが間違っていなかったのだと、うれしく感じました。

子どもたちは信頼できる事業所に今後を託すことができました。新しい環境で成長してくれると信じています。



「寄付と支援」

皆様の寄付や
会員などでの支援

寄付と支援と会費

- 助け合い寄付:75人(匿名含まず)
- 子ども寄付:40人
- マンスリー寄付:2人
- 設立30年応援寄付:61人
- ご不用品寄付:1037人
- 食品寄付:74団体(個人含まず)
- 正会員48人 ●賛助会員132人 ●団体会員3団体

会費と寄付財源(5年間)

(万円)

年度	2020	2021	2022	2023	2024
会費	62	66	66	72	65
寄付金	99	132	171	198	161
不用品寄付	246	312	292	268	296
合計	407	510	529	538	522



ご協力ありがとうございました。
皆様から寄せられた寄付金は以下の資金に使わせていただきました。

【助け合い寄付】住民互助でぬくもりのある地域へ

対象を限定せずに、子どもから高齢者までを広く受け入れ、楽しむ・学ぶ・食べる・ふれあうことのできる居場所を開いています。寄付金は居場所の会場費と維持費として使わせていただきました。(314万円)

【子ども寄付】すべての子どもが夢を持てるまちへ

学習支援や子ども食堂等を通し、地域でふれあいながら成長していける場を提供しています。わいわい広場、中学生の学習支援の運営に使わせていただきました。(208万円)



「リサイクルバザー」

【ご不用品寄附のお願い】

ご不要になった品物をご寄付いただき、リサイクルショップで販売し、活動の運営費に充てています。

日用雑貨、衣類、食器等、ご家庭で眠っている品物がありましたら、ご寄付をお願いします。大量の場合は車で引き取に何うこともできますので、ご連絡をお待ちしています。

「みんなの居場所」



ふらりカフェ

誰でもふらりと気軽に入ってほしいという願いを込めた100円カフェ。CS神戸さん企画のごちゃまぜカフェ、月1回無料カフェも試みました。



さわやかカルチャー(文化交流事業)

コープカルチャーがなくなった影響なのか、今年になって英会話、ソフトヨガ、フォークギター、健康マージャンなどの利用者が増えました。



ふれあい食事会

午前・午後のカルチャーご利用者の申し込みが増加。スタッフもいっしょにごはんを食べて皆様とコミュニケーションを深めました。



子ども食堂

新しい子どもが参加したくても参加しにくいとの声がありました。イベントなどを通じてメンバーの固定化を防ぎ、参加しやすい雰囲気づくりに心掛けます。



わいわい広場

放課後の子どもたちが、事務所2階のわいわい広場で宿題をしたり楽しく過ごしています。障害のあるお子さんも、見守りボランティアさんと一緒に利用しています。